

2025 年「世界トップ 100 ブランド」に選出 — ブランド価値が 34%増加、 米国で最も信頼されるブランド上位 5%にランクイン

インド・バンガロール – 2025 年 5 月 19 日

次世代のデジタルサービスおよびコンサルティング分野における世界的リーダーである Infosys（NSE、BSE、NYSE：INFY）は本日、マーケティングデータと分析の分野で世界をリードする [Kantar](#) 社が発表した「[BrandZ 世界で最も価値あるグローバルブランド](#)」年次レポートにおいて、4 年連続で世界トップ 100 ブランドに選出されたことを発表しました。Infosys は、2025 年版ランキングで世界第 73 位にランクインし、米国市場において最も信頼されるグローバルブランドの上位 5%にも選ばれました。さらに、ブランド価値は前年比で 34%の大幅な増加を記録しています。

当社グローバル・チーフ・マーケティング・オフィサーであるスミット・ヴィルマーニは「私たちは、Infosys を世界で最も尊敬される IT サービスブランドのひとつとして確立することを目指し、AI を中心とした未来においてクライアントの課題解決を支援する専門性と革新性を強みに、日々努力を重ねています。ステークホルダーのニーズが変化する中でも、私たちのブランドは『人間の可能性を拡張し、すべての人に次の機会を創出する』という理念に忠実であり続けています。ブランド価値の継続的な成長と、Infosys が世界で最も価値あるブランドのひとつとして信頼されていることを大変嬉しく思います」と述べています。

Kantar BrandZ による今回の評価は、Infosys がブランドの普遍性と、時代に即した変革を戦略的に両立させていることを示しています。これは、企業が不確実性や絶え間ない変化、そして AI の浸透する時代において成功するための変革を支援する能力の証でもあります。Infosys は、AI 分野におけるリーダーシップを背景に、AI ソリューションを提供するサブブランド「[Infosys Topaz](#)」や、エンタープライズクラウド向けの「[Infosys Cobalt](#)」など、業界を牽引するブランド群を展開しています。さらに最近では、企業向け AI マーケティングスイートを提供する新たなサブブランド「[Infosys Aster](#)」も加わり、AI による企業支援の領域で存在感を高めています。また、世界的なブランド評価機関である Brand Finance は、今年初めに Infosys を「世界トップ 3 の IT サービスブランド」および「過去 5 年間で最も成長したブランド」として認定しています。

Kantar BrandZ の責任者であるマーティン・ゲリエリア氏は「過去 25 年間にわたる BrandZ の膨大なデータベースを分析した結果、適切なレベルの投資と戦略的焦点があれば、ブランドは所有者の成長を大きく推進する潜在力を持っていることが明らかになりました。AI テクノロジーの需要の高まりにより、Infosys はそのブランド価値と、拡大する顧客基盤から得た信頼を最大限に活用できる絶好の立場にあります」と述べています。

当社は、ビジネスだけでなく、事業を展開し、生活する地域社会で前向きな変化を推進する責任ある企業市民として、引き続き信頼されています。Infosys Foundation が推進する社会貢献プログラムを通じて、当社は、医療、教育、持続可能性、女性のエンパワーメントの分野において積極的に活動しています。Infosys Springboard イニシアチブは、世界中で 1,200 万人に無料の学習プログラムを提供し、デジタルスキルの向上に貢献しています。Infosys は、持続可能性の分野において引き続き先駆者であり続けることを目指し、カーボンニュートラルを維持しています。インフォシスは 2025 年にも Ethisphere から「世界で最も倫理的な企業」として再び認定されました。

Kantar BrandZ 最も価値のあるグローバルブランドについて

2025 年に 20 周年を迎えるこのグローバルランキングは、ダイナミックな市場環境におけるブランドの価値と影響力を理解するための権威ある指標となり、変動、不確実性、複雑性、曖昧さが特徴の時代にマーケターが直面する継続的な課題に焦点を当てています。毎年発行される「Kantar BrandZ 最も価値のあるグローバルブランド」レポートは、カテゴリー別に世界のトップブランドをランキングし、消費者の嗜好の変化、ブランドパフォーマンス、業界トレンドに関する貴重な洞察を提供します。Kantar BrandZ の基盤は、消費者の認識と財務データを組み合わせた堅牢なメソドロジーにあり、ブランドを企業資産としての価値を包括的に評価する視点を提供しています。

インフォシスについて

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーです。30 万人を超える従業員が、人々、企業、コミュニティの潜在能力を最大限に引き出し、新たな機会を創造するために尽力しています。私たちは、56 カ国以上のクライアントがデジタル変革を推進するのを支援しています。40 年以上のグローバル企業システムの管理経験に基づき、クラウドと AI を活用したデジタル変革を導く専門知識を提供しています。私たちは、AI を中核とした基盤を提供し、アジャイルなデジタル変革を大規模に展開することでビジネスを強化し、デジタルスキル、専門知識、アイデアの移転を通じた継続的な改善を推進します。私たちは、多様な人材が活躍できる包摂的な職場環境において、適切に統治され、環境持続可能な組織として深くコミットしています。

Infosys (NSE、BSE、NYSE: INFY) が、貴社の次なるステップをナビゲートするお手伝いをする方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー

本リリースに含まれる当社の将来の成長見通し、または将来の財務または営業成績に関する一部の陳述は、1995 年民間証券訴訟改革法に基づく「セーフハーバー」条項に該当する将来予測に関する陳述であり、実際の結果または成果がこれらの将来予測と著しく異なる可能性のあるリスクおよび不確実性を伴います。これらの声明に関連するリスクと不確実性には、以下のものが含まれますが、これらに限定されません：当社の事業戦略の執行に関するリスク、人材獲得競争の激化、人材の採用・定着能力、賃金上昇、従業

員の再スキル化のための投資、ハイブリッド型勤務モデルの有効な実施能力、経済的不確実性および地政学的状況、ジェネレーティブ AI を含む技術的混乱と革新、複雑かつ変化する規制環境（移民規制の変更を含む）、当社の ESG ビジョン、当社の資本配分方針、市場ポジション、今後の事業運営、利益率、収益性、流動性、資本資源、当社の企業行動（買収を含む）およびサイバーセキュリティに関する事項が含まれます。将来の見通しに関する記述と実際の結果または成果が異なる原因となる重要な要因は、2024 年 3 月 31 日終了の事業年度に関する当社の米国証券取引委員会（SEC）提出書類（Form 20-F 年次報告書を含む）において詳細に説明されています。これらの提出書類は、www.sec.gov で閲覧可能です。インフォシス（Infosys）は、適宜、追加の書面または口頭による将来見通しに関する表明を行う場合があります。これには、当社が証券取引委員会に提出した書類および株主への報告書に含まれる表明も含まれます。当社は、法律で義務付けられる場合を除き、当社または当社の代理人によって適宜行われる将来見通しに関する表明を更新する義務を負いません。

お問合せ先

インフォシスリミテッド 東京オフィス

担当 安藤 jo_ando@infosys.com